

新型コロナウイルス感染症予防対策について

群馬県高体連ソフトボール専門部

新型コロナウイルス感染症における実施ガイドライン（県高体連・日本ソフトボール協会：各ホームページ記載）に沿って開催する。参加校の監督・引率責任者は参加者に対して内容の周知徹底を図ること。

なお、内容について遵守できない場合には、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

また、大会開催内容等についての質問は一括して専門部委員長（育英・原口）が対応いたしますのでよろしくお願いたします。

感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項

1. 参加者とは大会当日会場に来場する選手(部員)・チームスタッフ（監督・コーチ・引率責任者）・大会役員とする。
2. 感染防止策として、観戦の制限をする。登録選手1名に対して保護者4名までを原則とし、(上限100名まで)とする。なお、声を出しての応援は禁止とし、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保を徹底すること。また、観戦後は観客席等の消毒を行うこと。
3. 参加について下記の項目について遵守いただきますようよろしくお願い致します。
 - (1) 感染拡大防止のために、以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせて下さい。
 - ・ 体調が良くない場合(発熱37.5℃以上・風邪症状・咳・痰・咽頭痛・胸部不快感・強いだるさや倦怠感・味覚嗅覚を感じない等)
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、あるいは過去14日以内に感染者と接触がある場合や濃厚接触者と特定された場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - (2) 各校の引率責任者は、選手および観戦者を事前に名簿等で把握しておくこと。また、観戦者・参加生徒の「健康状態申告書」を各校にて管理する。
 - (3) 観戦者は試合開始予定に合わせて入場し、終了後はすみやかに解散すること。選手の送迎等で時間を調整する場合には車内にて待機すること。
4. 会場への移動については、各学校で責任を持って集団感染のリスク（3密の条件）を避ける手立てを講じること。
5. 会場内での留意点
 - (1) 参加者全員マスクを着用すること。ただし選手・監督・コーチにおいては、試合やウォームアップ等の運動中は、顧問の判断において適切に判断する。

- (2) 人と人との間隔を、できるだけ2 mを目安に(最低1m)距離を確保すること。
※受付時、待機時、応援時、集合(ミーティング等)時、トイレ等に並ぶとき等、常に確保を意識する。
- (3) こまめに手洗いや手指消毒を行うこと。特に共有部分接触後、試合後は必ず行う。
- (4) ソフトボール用具・用品は前日に消毒を行ったものを持参し使用すること。
- (5) 飲料については、マイボトル等を用意し、ボトル(ジャグ等)やコップ等の共用はしない。
- (6) 大きな声での会話は慎むこと。
- (7) 飲食時も十分に距離をとり、対面を避け、会話は控えること。
- (8) ゴミや飲みきれなかった飲料はすべて持ち帰ること。唾や痰を吐く行為はしない。

6. 競技上の留意点

- (1) 共用の用具等については、こまめに消毒をおこなう。
- (2) 試合開始時の整列および礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をしておこなう。終了時も同様の形式をとる。
- (3) 試合開始前の審判員、主将による攻守の決定については可能な限りお互いの距離を取り、握手はおこなわない。
- (4) 握手・ハイタッチ・グータッチ・ハグなどの身体的接触は避けること。
- (5) 試合中や試合前のウォーミングアップにおいて選手間の円陣については密集・密接を避け、最低1 mを確保する。また、大きな声援や会話は避けること。
- (6) ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2 m(最低1 m)確保し、出場選手以外はマスクを着用することが望ましい。
- (7) ベンチ内では各チームで消毒液を用意・設置する。
- (8) 試合前の打順表最終確認の際は、可能な限りお互いの距離を取り、監督、審判の握手はおこなわない。
- (9) 応援の際は、応援者の間隔は可能な限りお互いの距離を取り、大きな声での応援は慎むこと。

7. 大会終了後

体調の異変があった場合は、医療機関や保健所に従い適切に対応した上で、参加から専門部委員長(育英・原口)に報告すること。